

研究主題 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習過程の工夫」～見方・考え方を働かせた授業づくりを通して～

単元を貫く問い バレーボールを楽しみたい！そのためには、どんな力を身に付けたいだろうか？～体育的な見方・考え方の「する・見る・支える・知る」の関わり合う活動を通して～

この単元に関連した領域の付いている力(◆)と内容(・)

【第6学年まで】

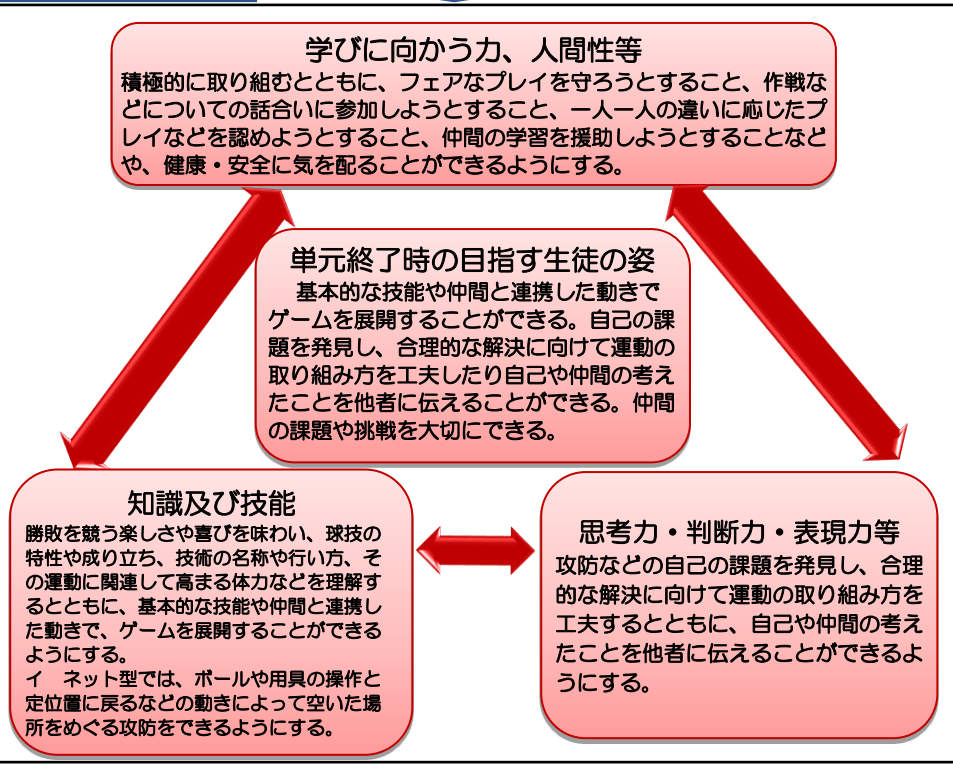
- ◆運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすること。
- ◆ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- ◆運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付け、簡易化されたゲームをすること。

・ボール運動(ゴール型、ネット型、ベースボール型)

【第1学年】

- ◆勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、特性や技能の名称や行い方、高まる体力を理解し基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。
- ・学校で行う球技はオリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていること。
- ・パスやドリブルなどでボールをキープすること。パスを受けるためにゴール前の空いている場所に動くこと。
- ◆学習成果を踏まえて「する・見る・支える・知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見つけること。
- ◆互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとすること。
- ・球技(ゴール型、ネット型、ベースボール型)

本単元の目標



この単元からつながっている領域の力(◆)と内容(・)

【第3学年】

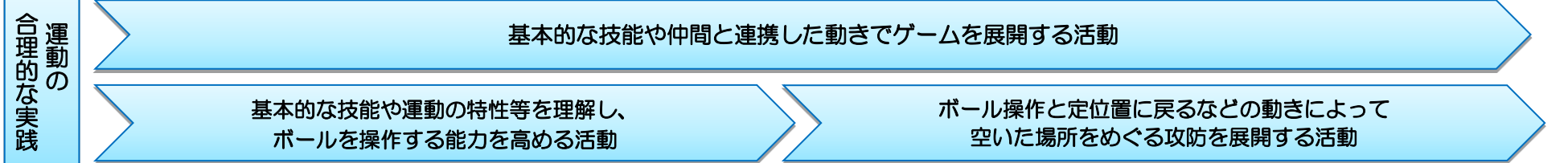
- ◆球技に自主的に取り組みるとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。
- ◆攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- ◆勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。

・球技(ゴール型、ネット型、ベースボール型) \* 2つ選択

・球技(ネット型・ゴール型・ベースボール型) \* 2つ選択して行う。

生徒の実態と指導観

このクラスの体力テストの昨年の結果は31人中7人がA、8人がB、7人がC、8人がD、1人がEであった。授業アンケートでは、体育の授業が好き88.4%、授業は楽しく取り組みましたか93.2%、運動の方法が分かりますか94.5%、仲間同士での声かけや励ましの声はありますか95.5%技能は上達していますか94.5%という結果で意欲的な取り組みが見られる。本単元では、ネット型の特性を活かし、勝敗の楽しさや喜びが感じられるように、用具や授業形態の工夫をしながら、個人のスキルアップを図りつつ、チームとしてゲームを楽しめるように活動させたい。また、課題である思考判断については、「何が、どんなふうに見えるようになったか、どんなところが向上したか。」というところを意識させながら合理的な課題解決に取り組ませたい。そして、体力や性別の違いがあっても、仲間の挑戦を大切にできるよう、「する」だけでなく「見る・支える・知る」といった体育の見方・考え方を通して、主体的に活動し、自分自身や仲間の生活を明るく元気なものにできるような力をつけたい。



●単元の目標確認(1時間)

- ・バレーボールの実技ビデオを視聴
- ・試しのゲーム
- ・現在の知識の確認(アンケート)

◆「どんなことができるようになると、もっとバレーボールを楽しめるだろうか？」

- パスが続くようになる
- レシーブ、トス、アタックができる
- アタックが取れる
- パスが返せる
- サーブがしっかりと相手コート内に打てる

●基本的な技能を理解し、個人スキルを高め、チームでラリーを続けることができる(1時間)

◆「前時に出した課題の中から、個人技能を高めるためにどんなところを気をつけたいだろうか？」

- パスの技能のポイント
- サーブの技能のポイント
- サーブ・レシーブの技能のポイント

《予想される練習・補充的な練習の例》

- ・簡易的なサーブから始まるサーブレシーブ
- ・タスクゲーム

●ラリーを続けるゲームから、定位置に戻ったりしながら、空いた場所をめぐる攻防ができる(3時間)

「拾う・つなぐ・最後に返す」など課題の克服練習

①「拾う」レシーブの練習

◆「レシーブの動き方を理解し、返球しよう」

- 落下地点に走ることができる
- 体の高さ、ボールを取る腕の形など味方が操作しやすい位置に上げる。
- ボールの方向に体向ける
- サーブのコースによって誰が最初にレシーブするのかを確認する。

②「つなぐ」パス練習

◆「拾ったボールを、チームでつなごう」

- レシーブを取った後、つなげられること。トス・アタック(3攻撃)
- 次のプレイに備え、定位置にもどり、ポジションを守る
- ローテーションごとにセッター役、それ以外の人の役割を決める

③「つなぐ」パス練習

◆「拾ったボールを、自ら動き、つないで返球しよう」

- チームの中で、役割やポジションを変更してみる
- レシーブのポジションを確認する
- セッターが前方のポジションでトスを送ることができるようにする。

《予想される練習・補充的な練習の例》

- ・ボールを持たない時の動きを意識した練習
- ・これまで学習した技能に挑戦する簡易ゲーム

●チームの特徴(課題)に応じて作戦や戦術を工夫して攻防ができる(2時間)

◆「相手が取りにくいボールを返球するために工夫しよう」

- アタック練習を行い、ボールの中心を手の平全体で弾くように打つと狙った方向に打ちやすい。
- コートの隅や空いている空間を狙って返すと点が取りやすい。人と人の間をねらって、アタックすると良い。

◆「チームの課題に応じて攻めや守りを工夫しよう」

- レシーブが苦手な人がレシーブになっている時に、多くのスペースをカバーする。
- セッター役を確認し、その他の人でレシーブを行うようにする。
- 安定してトスが上がるようになれば、助走をとり勢いをつけることで強いアタックが打てる。
- ・まとめ・振り返り

《ゲームし、課題発見→合理的な解決に向けた取り組み》

- ・ゲーム①
- 課題(個人課題、チームの課題を把握し、解決策を練るゲーム)
- ・ゲーム②
- ゲーム①の話し合いを活かし、課題解決を図るゲーム

評価規準

【知】・集団対集団で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書いたりしている。

【知】・技術には名称があり、それらを身につけるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。

【技】・サーブでは、ボールの中心付近で捉えることができる。

【主】・バレーボールの学習に積極的に取り組もうとしている。

【思】・提示された動きのポイントや、つまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。

- ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動に仕方を見つけている。
- ・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見つけている。

【技】・ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対することができる。

- ・プレイを開始するときは、各ポジションの定位置に戻ることができる。

【主】・作戦などについての話し合いに参加しようとしている。

【知】・対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて、学習した具体例を挙げている。

【思】・体力や技能の程度、性別の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむために練習やゲームを行う方法を見つけ、仲間に伝えている。

【技】・相手側のコートの空いた場所にボールを返すことができる。

- ・味方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。

【主】・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。

見方・考え方を働かせている姿

知る： 技術には名称があり、具体的な行い方や活用方法を知る。

見る： 仲間の動きを見る。

する： 積極的に、バレーボール特有の動きを練習する。個人技能を高めるために技能向上に向け、取り組む。

支える： マナーを守ったり、仲間の取り組みを応援する。

見る： 自己やチームの課題を見つけ、それに応じた練習

する： 方法を選び、他者に伝えたり解決に向けて取り組む。

する： 基本的なステップなどを用いて、空いた場所を作らないように定位置に戻ることができる

支える： 分担した役割に応じて、責任を持ち取り組んでいる。

知る： 自分や仲間の課題を知る。解決するための行い方を知る。

知る： 技能の程度に応じた作戦や戦術を選んで行う。

する： 空いた場所を作らないように定位置に戻り次の攻撃に備えるなどの動きしている

見る： 試合の応援をしたり、体力や性別の違いに応じ

支える： て、協力して解決方法を考えたり、励まそうとする。

9/30	<p>問題 バレーボールを楽しみたい！そのためには、どんな力を身に付けたいだろうか？</p>	<p><b>ポイント</b></p>	<p>◎深い学びを実現するための「問題」と「めあて」の工夫 課題に応じた運動の取り組み方を工夫する。具体的には身につけた基礎的な知識や技能をもとに、ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技能を身につけるための運動の行い方のポイントを見つけたり、提供された練習方法から自己やチームの課題に応じた練習方法を選ぶことができるように授業形態や練習方法を工夫していきたい。</p> <p>◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て ネット型の特性を生かし、空いた場所への攻撃を中心としたラリーの継続について学習課題を追究しやすいように、プレイヤーの人数や、場の設定、プレイ上の制限などを工夫し、「バレーボール」の楽しみや喜びを味わわせながら技術の向上を図りたい。</p> <p>単元の構想では、体育の「する・見る・支える・知る」という多様な関わり方と関連づけ、自己やチームの課題に対し、分担した役割に応じた関わり方や、体力差や性別の等の違いに応じた課題解決など合理的に解決できるよう知識の活用や対話を通して運動の仕方、バレーボールの楽しみ方を考えさせていきたい。</p>
<p><b>授業の流れ</b></p> <p><b>W-UP</b></p> <p><b>課題別練習</b></p> <p><b>ゲーム</b></p> <p><b>ミーティング</b></p>	<p>めあて レシーブを繋げられるように、アドバイスをし合おう！</p> <p>前時を振り返って</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拾ったボールをつなげたい。</li> <li>・ レシーブをセッターに戻したい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p><b>では、どうすれば、それができるようになるか。どんな練習をすればよいか</b></p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>・ レシーブを正面でとる、そして、パスをつなぐために拾う人、つなぐ人という役割を決めてポジションで練習する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>・ 同じ動きでとれるように、1列に並んで、サーブレシーブをどんどん行う練習をする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p><b>ゲーム練習</b></p> <p>ゲームのルール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サーブ失敗したら 2回 OK</li> <li>・ パス何回つないでも OK</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>・ 2人組で、サーブレシーブを行い、定位置に戻る練習をする。</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">( など班で、出させ、練習する )</p>	<p>〇〇ができるようになるには？</p>	



<p>問題</p> <p>バレーボールを楽しみたい！そのためには、どんな力を身に付けたいだろうか？</p> <p>●集合して、授業準備をする。( 10分 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・号令</li> <li>・体調チェック</li> <li>・ストレッチ</li> <li>・各チーム、リーダーを中心に前時の試合の動きを映像で確認し、今日の練習メニューを伝える</li> </ul> <p>・前時の身に付けたい技能の確認</p> <p>T 前時のチームで身に付けたい技能は、どんなことが挙げられていましたか？</p> <p>S 効果的な声かけができるようになる。</p> <p>S レシーブのあと、パスをつづけたい。</p> <p>S 基本的な動作ができるようになる。</p> <p>T では、本時のめあては？</p>	<p>めあて</p> <p>アドバイスし合って、レシーブを繋げられるようになろう！</p> <p>●課題別練習をする。( 15分 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループで考えた練習をする。</li> <li>・各グループのリーダーを中心に、それぞれの身に付けたい力に応じた練習を行う。</li> <li>・グループ毎に、ホワイトボードに身に付けたい力と練習メニュー、その練習で得た気づきを記入する。</li> <li>・グループでアドバイスや励ましの声かけ、良かったプレイを褒めるようにする。</li> <li>・ネットは挟む練習をするチームもあるため、場所は相談しながら使う。</li> </ul> <div style="text-align: center;"> </div>	<p>●確認のゲームを行う。( 15分 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7、8人グループでタスクゲームを行う。</li> <li>・ 1面で行う。</li> <li>・ 審判、ビデオ撮影は試合をしていないチームが行う。</li> <li>・ タスクゲーム共通ルール</li> </ul> <p>コート縦を短くし、ラインより前でサーブを打ってもよい。また、サーブは手投げでボールを投げてもよい。ローテーションは行うがセッターは固定でもかまわない。3回以上で相手コートに戻してもよい</p>	<p>●振り返りをする。</p> <p>T 本時の振り返りを発表してください</p> <p>どういところを、アドバイスすることができましたか？ ( また、参考になった仲間のアドバイスはどんなところでしたか？ )</p> <p>S レシーブのミスが、ボールの落下点に移動することができていなかったのを、そこを伝えることができた。</p> <p>S レシーブする時の肘が曲がっていたので、伸ばすように伝えることができた。</p> <p>S レシーブした仲間のボールに、体を向けることができていなかったのを、みんなで向くように声をかけることができた。</p> <p>S レシーブしてボールを送った後前にいったままだったので、定位置に戻ることを声かけすることができた。</p> <p>S 仲間のプレイを励ます声かけができた。</p>
<p>&lt;指導上の留意点&gt;</p>	<p>&lt;指導上の留意点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人技能の向上から、ひとつステップアップさせ、仲間とともに個人集団において、身に付けたい力を確認し、活動させる。</li> <li>・ チームで身に付けたい力を向上させるため、自分たちが考えたチーム練習をさせる。</li> <li>・ チーム内でアドバイスをし技能習得を図る</li> </ul>	<p>&lt;指導上の留意点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試合をしない班は、審判。点付け・録画など、役割をさせる。</li> </ul>	<p>&lt;指導上の留意点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アドバイスを受け、なぜできるようになったのかを挙げさせる。</li> <li>・ 見方・考え方を働かせた「する・見る・支える・知る」の視点で挙げさせる。</li> <li>・ 成果と課題をワークシートに書かせる。</li> </ul>
<p>評価規準</p>	<p>【思】 提示された動きのポイントや、つまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</p>		